

発達障がい？

こころの市民講座で飯田順三先生(人間発達学)の「発達障害の理解とケア」を学びました。会場は満席で発達障害の関心の深さに驚きました。

私自身が“発達障害”という言葉が漠然としているように感じて、理解がし難く悩んでいましたが、先生の資料に基づいたお話に、自閉症、注意欠如・多動症、学習障害のそれぞれが、①社会性の障害②コミュニケーションの障害③想像性の障害と、“障害”となることが共通している部分で“発達障害”とよばれることが分かりました。

飯田先生の障害の説明とその対応、ケアなどがとても分かりやすく、まだまだ講義を続けて欲しいと思いましたが、時間が足りずにとっても残念でした。

その後、障害を持つご本人のお話は、生活面で体験をされたことや子育てのご苦労などを聞かせていただきました。

また、21歳の息子さんとの試行錯誤の付き合い、素晴らしい支援をされたお母さんのお話は、障害の有無に関わらず、子育てする親の関わり原点を実行されたようで、教えられ感動をしました。

最後に飯田先生からの言葉…子どもが旅立つときはなむけは「お前が生まれた時、お父さんとお母さんは本当にうれしかった。というだけである」という言葉が心に残りました。

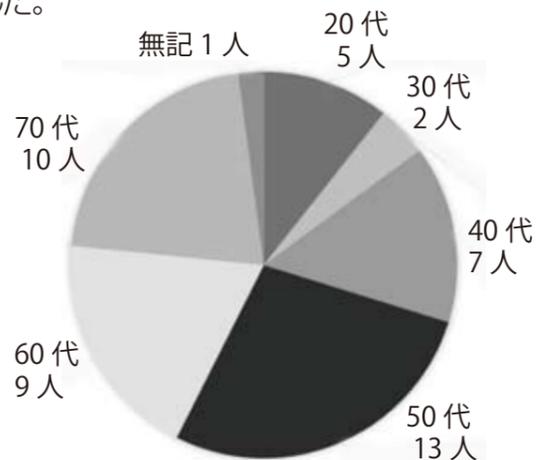
西谷光子(副代表)

こころの市民講座 アンケート結果



アンケート集計は48人でした。若年層の参加も増え、より幅広い層の方々が興味を持つ内容であったと思います。また講座の感想では、大変良かった26人、よかった17人、ふつう1人と、良くなかったという意見はなく、今後の講座開催を希望する方も43人でした。

アンケート内容は、飯田先生の話が資料も多くてわかりやすくよかったという意見が多数でした。自分自身や、家族、支援者それぞれの立場から、発達障害について理解できたことが記載されていました。また、吉田さんや三田さんの話を聞いて共感したとの声も多く、先生や家族、当事者の話をもっと聞きたいと、多くの方から意見がありました。



“おとなの発達障害”も知りたいと思います。

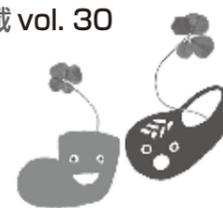
くわしく聞いてみたい。「愛着障害と発達障害の類似点」

医師という上から目線ではなく、愛を持って当事者と接して下さっている先生のお人柄を感じています。

こだわることに周りがこだわらないという言葉が心に響きました。

発達障がいの人の支援の仕方(どこにまず相談したらいいのか、就職支援の仕方)を知りたい。

「社会資源」



神澤 創 KAMIZAWA TSUKURU
帝塚山大学 心理学部心理学科 大学院心理科学研究科教授 [研究領域] カウンセリングや心理療法など、個人の幸福感やQOLを高める実践的なアプローチに関心があります。最近では自殺対策や精神障害者支援など、主にコミュニティで活動しています。[社会的活動] 奈良県自殺対策連絡協議会 座長、生駒精神障害者ひだまり後援会代表

□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□

原稿未定



職場内で発達障がいと思われる方がおられ、関わり方に悩んでいたのが、少し理解することができたと思う。

吉田さんの「人とくらべない・がまん・応援・みとめる」が勉強になりました